

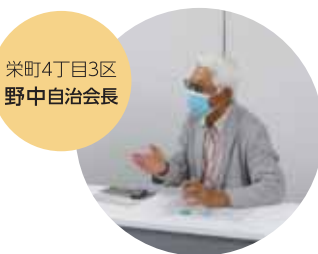
地域の絆 その1

～誰かとつながっている安心感～

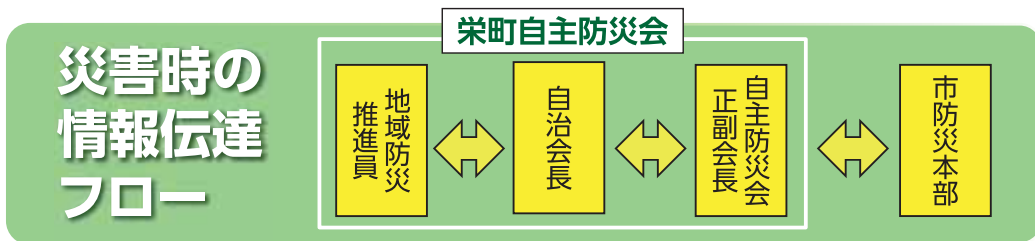
栄町自主防災会は8つの自治会で構成されています。自治会には10から20世帯くらいで分けられた班があって、それぞれの班に地域防災推進員を設置しています。災害発生時には、推進員が各家庭との連携役になり、被害状況を自治会長に連絡したり、市の災害本部からの避難情報を伝えるなど情報の収集、伝達を行います。高齢者や障がいを持っている方など災害時に自力で避難することが困難な方たちには、民生委員と協力して避難を支援します。今後、高い確率で大地震が発生すると言われており、もしもの時に対応できるよう訓練や研修を行うなど、備えを進めています。令和2年1月に自主防災訓練として地震を想定したシミュレーションを行ったことで、組織としての前進を実感することができました。



栄町4丁目5区
横山自治会長



栄町4丁目3区
野中自治会長



栄町
自主防災会
下蔵会長

防災組織、地域防災推進員といっても一般人の集まりですから、災害時の対応は慎重を期し、危険を伴う要請はしません。設立当初は組織としてがんばりすぎて上手くいかないこともありました。息の長い自主防災活動を続けるには、背伸びをせずに多くの人に参加しやすいよう敷居を低くすることも大切だと感じました。



1月に実施した机上シミュレーション訓練

大地震が起きた直後の状況把握と報告手順について机上シミュレーションを行い、情報の伝達方法を確認しました。(栄町コミュニティセンターにて)

新型コロナウイルス感染拡大防止のために距離を空けて取材したよ。



自分の住んでいる地域に自主防災組織があることを知っているだけでも、いざというときに一人じゃない、近くに連絡できる仲間がいるという安心感があるね。互いに支えあえる地域の絆の強さが、栄町自治会の防災力を高めているんだ。



つながッテルね!
条例30条

(危機管理) 一部抜粋

第30条2 市民及び市は、災害等の緊急時には、協力して対応しなければならない。